

第8回武蔵野市における地上部街路に関する話し合いの会 ご意見カード

・ご意見カード記入 31名（内、公表希望23名）

| 整理番号 | ご意見 |
|------|--|
| 1 | <p>行政は頭を切りかえてください！！</p> <p>本日の構成員の方々の意見は本当に素晴しかった。意識の高さに感心しました。それにつけても行政の方が震災のあとにもかかわらず、何も考えなしにここに来ている事にやはり違和感を感じます。</p> <p>データはいらない、住民目線でなぜ行政は考えられないのか。</p> <p>渡辺さんの言う、そこまで（話し合う）とはどこまで？</p> <p>まだこれ以上道路はなしをしてどうする！！</p> <p>国、都、市はすぐに国民、都民、市民の立場になって考えるべきでしょう。こういう目線、立場になれないから行政マンのすることは役にたちにくいのですねー。</p> |
| 2 | <p>何度か傍聴している他区の者です。</p> <p>基本的に今回の動議は出るべくして出た、非常に的を得た動議だと思料します。</p> <p>「動議」に疑問を呈した方のご意見について、この度の“国難”は1000年に一度というレベルのもので、この渦中であらゆる国難問題と、我々の広い意味での生活を切りわけて考えることは、一種の国民としての一の責任を放棄した考え方です。</p> <p>“対象自体”を切りわけて検討したとしても、当該道路の原因たる外環は、避難方式も定まらず、M9.0への安全性も現に担保されていないまま事業が推進されている危険極まりない物件です。ゆえにこの動議は、武蔵野市民の良識を表しているものと強く思います。</p> |
| 3 | <p>今回、緊急動議が出されたが全くその通りである。今回の大震災で考え方を一辺させることが必要である。限られた財力の中で、国として、都として、何を最優先に考えるか？検討すべきである。新しい道路を作るよりも既存の道路のインフラ整備ならびに復興の方に重点を移すべきでないのか？結論はこの話し合いの会を続けるのではなく白紙にし、クールダウンさせることである。</p> |
| 4 | <p>今迄の何も進まない、生まない会から転換し、本題の議論を進めるいい機会と思う。黒木氏の今後の進め方の提案に賛成です。</p> |
| 5 | <ul style="list-style-type: none"> ・黒木氏はじめ、各委員の真摯な議論に感銘を受けた。すばらしかった。 ・東日本大震災を機に、40年前の時代に合わない外環本線、外環の2を捨てて、東北地方の復旧、復興にカネを廻せという住民の皆が考えていることを、役人はしっかり受け止めるべき。会の中断に賛成。 ・40m深度に径16mのトンネルを2本。東京の水脈を断ち切って作る、未知の領域。技術は自然に勝てない。地域を破壊してから、“想定外”はダメ。 |
| 6 | <p>これまで計画された道が、中止になったことが一度もないと思います。都内にあるマッカーサー道路も必要もないのに作られました。</p> |

| | |
|----|--|
| | <p>ここで大きな変化を都は行なうべき時期に来ているのではないのでしょうか。</p> <p>そして、お金がどのように使われるか、私達はきちんと見守っていかなければ、次の世代に責任が果たせません。作るにあたっての話し合いには、参加してもしかたがありません。中止にさんせいです。</p> |
| 7 | <p>①都知事が「外環の上の住民は安心して改築等してよし」と発言したが、いつの間にか「その2」が出て来た。知事がこういう事を云うのなら、サギではないか。知事の責任はどうなっているのか。</p> <p>②「外環の2」には絶対反対です。貧乏国日本が、大きな負担を強いる道路を新設する必要があるのだろうか（人口減、車減の時代に）</p> |
| 8 | <p>私は、会の出席ははじめてであります。会合は、議事の進め方の話ばかりで、外環2のメリット、デメリットについての話し合いがあまりなされていない。期待しているのは、外環について計画とつっ込んだ問題点の話し合いである。</p> |
| 9 | <p>東北大震災は明らかに人災である。外環のアセスも阪神淡路を想定していたが、今回想定外の地震と説明。外環本線のアセスをやり直すべきだ。いいかげんな本線の上に作る外かん2は、前提がもつての外である。</p> <p>国の財政が破たんする現在、話し合いの会も、外かんの2も中止すべき。武蔵野の構成員の方々はもつともである。立派!!</p> <p>行政はきちんと理解できないなら、退場せよ!!練馬地区で出した資料がだめな理由は何か?などという事を聞く等、脳ミソの中身を疑います。勉強せよ!!</p> |
| 10 | <p>なぜ外環の上に2を造るのか疑問である。</p> <p>外環の2が防災上必要であると言うことであるが、その議論は30年以上前の理由であり、それは建設するための理論であります。少子化、人口減少が始まった現時点での必要性を論ずる必要があります。また、今回の大地震により、都市部からの帰宅難民が多数出たこともあり、今後の想定される大規模地震対策の上から、被災の可能性の少ない郊外と都市部を結ぶ道路の強化が重要であります。話し合いの会は、要求した資料が出るまで開催する必要はありません。</p> <p>幅員40mの必要性も重要、建設費に比べ、用地費が大きいため。</p> |
| 11 | <p>武蔵野市民の構成員の方々の真剣な意見に深くうなずきながら、外環本線、地上部街路にかかわる予算の凍結と、地方を犠牲にすることなく、被災地の住民にも納得でき、真に都民（将来の）に必要とされる将来都市計画、予算の使い方を住民参加（単なる形式だけでなく）で検討していただきたいものです。</p> <p>今回の震災、原発事故でいかに従来の行政、エネルギー対策が疑問を封じ込め、本質を見えなくした上の押しつけであったかが判明し、もう若者にうそはつけない時代に入っています。</p> <p>新幹線に力を入れるJR各社の姿勢を見ても、在来線をないがしろにして地方住民の生活の足としての機能をそこねているが、都会の住民は公共交通網がこれだけ張りめぐらされ、大型道路の新規建設より、生活道路の改善、自転車道の整備等が、地方自治体の取り組むべき課題ではないか。</p> |

| | |
|-----|--|
| 1 2 | <p>今回の緊急動議に賛成です。</p> <p>東日本震災が起こり、今後日本がどうなっていくのかを見すえた上でなければ、外環の2が本当に必要なのか、あるいはこの先どうすべきかの新しい考え方や案は出て来るはずがないと思う。そうであれば、日本のこの先がある程度みえてくるまで、この話し合いはすべきではない。又、外環本線の予算 125 億と地上部街路の話し合いに使われている費用は、震災ふっこうにまわすべきです。</p> <p>これ程大きな地震が起ったのですから、外環本線の見直し（安全性など）もすべきです。</p> |
| 1 3 | <p>“緊急動議”の内容は、まさに市民感情を代弁するものだと思います。外かん本線も含め、外かんの2は不要不急の道路ではない。</p> <p>東日本大震災の復興再生に、日本国を挙げて支援すべきである。こんな時期に40年以上前の計画をむし返して、緑豊かな住宅地を道路に変える必要がどこにあるのか？</p> <p>石原都知事も「防災」がこれから4年間のテーマだといわれた通り、道路整備より学校・病院の耐震化（震度9）等にお金を回すべきだ。</p> <p>東京都のための電気を供給してきた福島原発の事故、その復旧には東京都も大いに支援するのは当然。</p> <p>今、不要不急の道路を作る時期ではないので、この会議は当分の間、凍結すべきである。</p> |
| 1 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 構成員（市民）の議論に対する姿勢はとても好感がもてる。感情的な反対論ではなく、冷静に根拠に基づく批判をしている推察される。 ・ ・ 都は、本線P Iのときと同様、あるいはオープンハウスなどと同様、意見交換ではなく「説得」しようとしているにすぎない。本来的な意味でのディスカッションをすべき。 |
| 1 5 | <p>東日本大震災の発生によって、予算の使い方等について、優先順位が変わってきた。復興・復旧最優先である話し合いの会は、この後も続ける事を前提に、暫く延期し、工事計画は被災者の援助にメドが付き、生活が落ちつくまで、一旦凍結出来ないか？</p> |
| 1 6 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 外環本線が凍結されてきたように、外環の2は東日本大震災を機に、凍結すべき（少くとも）です。 ・ 実際には、40年前の計画は中止すべきです。 ・ 外環本線が地下に計画変更された時点で、外環の2は無効になったはずです。 ・ 浜本さんのおっしゃるように（持論のように）、地上の道路を考えるのなら、まったく別の道路として提案されるのなら、まだわかりませんが、40年以上前から、本線と地上部街路の2計画があったというのは、どうしても納得できません。まず、今までのような外環の2は消してほしい。改めて計画～必要なら必要な場所へ考えるべき。 |
| 1 7 | <p>途中から参加したので、動議については聞いていない。</p> <p>この震災を機に日本は大きくかわらないといけない。</p> |

| | |
|----|--|
| | <p>構成員（市民）の方々の意見はわかりやすく、よく理解出来る。国・都の構成員は、事務局なのかどうか立場がよくわからない。必要なデータを何故出せないのか。これでは話し合いにならない。</p> <p>武蔵野市民は、つくづく「大人」だと思いました。</p> |
| 18 | <p>国交省や都に、委員さん達はだまされないで。</p> <p>今までもP Iが何回も開かれてきたが、P Iをみて納得した話し合いはなされなかったでしょう。担当者が交替というのも住民を軽視しているからでしょう。</p> <p>メリット、デメリットについては、これまでのP Iでも、住民から質問が何度も出されても、理由を示した回答はなされませんでした。</p> <p>だいたい、外環ノ2の話が出てきたこと自体、住民をだましたことですから、信頼関係が築きあげられるはずがない。</p> <p>外環ノ2計画を廃止にしない限り、信頼関係はできないと思います。また、市は非常になまけているとしか言えないでしょう。自ら動くことなく、都のデータを待っているとは市民に対する公僕とは言えないと思います。</p> <p>話し合いの会は、終了してしまっていていいと思います。（まず、外環ノ2は白紙にすべきだから）</p> |
| 19 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 今回の震災、原発事故の為に、国、都の道路予算を振り向けるべき。本線は毎年数百～1千億円をかける予定であり、外一2（地上部）も数百億/年の出費になるであろう。復旧・復興費としてかなり大きな金額である。 2. 外一2（地上部）計画が、都知事の考えようとする新たな防災計画とリンクするものかどうか、都として検討した上での再提案は当然 3. 福島原発事故への都の支援は、極めて重要。利益享受の立場をしっかりと認識を。 4. 主都機能分散の動きにも注目 5. 上記により当面休会が当然 |
| 20 | <p>昨年度からこの会に参加してきました。私としては、東日本大震災が起こる前から、この道路計画は廃止すべきと考えております。</p> <p>S41年から続いてきている議論の経過から見ても、住民の意見と意思を無視した計画、都からも資料も出さないという根拠そのもの自身が明確でないことを考えても廃止すべしと思います。住宅環境、自然環境の破壊を前提としたものが計画されること自身疑問を感じます。</p> <p>その上、国難である東日本大震災の被災地の人々の生活の復旧と街の復興が最優先されること、国をあげての政策が実行されるべきの中、こうした不要不急の公共事業は即刻廃止し、復興費用にあてるべしです。この会の存在意義を考えるならば、復興の視点で考えることの必要性を感じます。</p> |
| 21 | <p>東日本大震災が起き、人々の感心は大変高い。</p> <p>このような時に、この会を続けていいのだろうか。ましてや、当初8回までになると思ったでしょうか。</p> <p>このような回数になった事を反省してもらいたい。</p> |

| | |
|-----|--|
| | <p>今まで、外環の検討会でも、外環の2は大勢の住民が反対であった。時代にそぐわない話は、今までいろいろな会に出てきているにもかかわらず、真剣に取り扱ってもらっていない。</p> <p>先細りの計画なのに、交通量その他の資料を今だに出さない。この会は税金の無駄使いです。すぐ中止すべき。住民の声は繁栄されない。</p> <p>道路の予算は、震災、防災に回すべきと考えます。</p> |
| 2 2 | <p>震災後の現状で、今、なにを考え行動すべきか、意義深い議論であったと考えます。日本全体で、復興に力を入れる決断をすべき時です。復興は生活、仕事にどうしても必要な公共事業ですから、外環のようなムダな公共事業をやめて、本当に必要なところへ注力すべきです。</p> <p>また、コンクリートと鉄で自然をおさえ込めるという考え方は、根本的に改めるべきです。</p> |
| 2 3 | <p>この大震災に際して、市民は東京都が新たな視点によるまちづくりに立った道路の必要性など再検討したものを出すべきだと思います。自然と人間の英知の見直しもしていない従来の価値観によるものを使用して、話し合いを進めても実らないと思うのです。</p> <p>話し合いの会は、これからもこの形で良いのか。</p> <p>都は、この計画について再検討し新たな発想による外環の2の必要性をお出し下さい。また、話し合いの会の位置づけや形を住民と1から考え直して下さい。</p> <p>その為には、中断し、1から出直し話し合いをしませんか。</p> <p>出直すには、外環の2は白紙にもどし、そこから再出発して下さい。</p> |